

東武東上線の利便性向上等に関する要望書

東武東上線は県内屈指の大動脈路線の一つであり、東京都内への通勤・通学路線として、また日常の生活路線として、毎日多くの県民が利用しております。

しかし一方で、相互乗り入れによる輸送障害の拡大等の負の影響、減便を余儀なくされた駅の利用者の存在、依然として厳しいラッシュ時の混雑など、改善すべき課題は多岐にわたります。

また、将来にわたり、首都圏の円滑な輸送の確保及び駅施設の整備の充実は引き続き重要な課題となっております。

そこで、当議員連盟では、日頃から東武東上線を利用している方々からの様々な御意見を踏まえ、次の事項について要望いたしますので、特段の御配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 朝夕の通勤・通学の時間帯において、寄居駅までの直通運転を実施すること。
- 2 遠方輸送の強化と共に、平日の下り電車（1）池袋駅発森林公園駅行き及び（2）池袋駅発川越市行きの最終電車を引き延ばすこと。
- 3 人身事故など、利用者の安全確保の観点から乗降客数の多い駅から順次、ホームドアの設置及び踏切等における安全対策を行うこと。
- 4 エスカレーターの安全な利用を推進するため、エスカレーターを立ち止まって利用するよう呼び掛けるキャンペーンを定期的実施し、本議連と連携をした啓発活動を実施すること。

- 5 主要駅へのホームドア設置について、順次設置するための対応を行うこと。
- 6 車両、駅舎、ホームなどにおける障害者への合理的配慮を行うこと。
- 7 埼玉県のアグリティへの協力など、環境への配慮を行うこと。
- 8 乗降客数が多く、エレベーター未設置の駅について、早期に設置すること。あわせて、利便性向上のため、上り・下りのエスカレーターを設置すること。
- 9 駅構内のAED設置場所がすぐに分かるような標識の設置及びその工夫をすること。
- 10 掲示物について、カラーユニバーサルデザインの考えを取り入れるなど、色覚に障がいのある方への配慮を行うこと。
- 11 踏切内の両サイドに路側帯のような歩行者専用通路を設けること。
- 12 交通渋滞解消のため、踏切の除却に努めること。

令和6年2月26日

東武鉄道株式会社
取締役社長 都 筑 豊 様

埼玉県議会東武東上線利便性向上促進議員連盟
会長 小谷野 五雄